

安全・安心・住んで良かった・誇れるまち 八清

回 覧

発行責任者 八清親和会
会 長 三田幾一
編集 副会長 吉田祐治
発行 令和3年1月1日

わがまちの自治会 八清親和会 トピックス

会員の元気を 八清地域の元気に

令和3年 第1号

高齢者と若い世代の絆を深め、明るく、楽しい、自治会



年頭のご挨拶

八清親和会
会長 三田 幾一



新年あけましておめでとうございます。

新たな年を迎え、おだやかな、お正月をすごされていることと思います。

また、日頃より、八清親和会へのご理解と、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、オリンピック、パラリンピックも延期となり、自治会の主な行事の八清公園お花見会、昭和天満宮夏祭り、第3ブロック運動会、餅つき大会などを中止にせざるを得ない、多難な年となりました。

今年も、新型コロナウイルス感染の収束の見通しが立たず、自治会にも制約がかかると思われます。

自治会には、高齢者が多く、感染症対策は行政の対策だけではなく、我々もできることをして、新型コロナウイルスに負けない“健康で明るい地域のまちづくり”を目指します。

幸い、八清地域には、昔から培った“お隣りさんご近所の絆”が強い地域であり、困った方に声を掛け助け合って、この難局を乗り越えましょう。

さらに、自然災害、防災に備えることも必要です。自治会としても、市、関係各所と連携をして、できるだけ情報を発信していきたいと思えます。

今年も役員一同、これらの災害に対する防災にも努力してまいります。

皆様の健康とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

**“一人ひとりが人との接触を減らす行動で、一人ひとりが感染症対策を実行することで”
新型コロナウイルスの感染拡大を抑制し、減らそう！**

新型コロナウイルス感染症患者が、日本で初めて確認されてから2月でほぼ1年になります。

当初は、誰もがこのような大きな感染拡大になるとは予想しませんでした。ワクチンができ、遅くとも1年後には終息するだろうと思っていたのではないのでしょうか。

しかし、現実とは全く違い、新型コロナウイルスの感染拡大は収まるどころか、4～5月の第1波、8月の第2波を上回る勢いで10月末以降、第3波が猛烈な勢いで都市部から全国、全年齢世代に感染拡大しており、また感染経路も多様化しています。その中でも特に多いのは、外出先から持ち込まれた家庭内感染であり、無症状者の増加である。新型コロナウイルス感染拡大は、自然災害の「ウイルス感染症災害」と言うよりも、今や「人災」です。



ワクチンができ、その効果が出るまでは「国民（みなさん）」「お店（飲食店など）」「医療機関（医師・看護師）」の、この三つが協力しないと感染拡大の防止はできません！

■「お店（飲食店など）」だけが感染予防対策を徹底して行っても、また営業時間だけを短縮するなどをおこなっても、利用する国民（皆さん）一人ひとりが感染予防策をしっかりと行い、国や東京都が示している感染対策の基本をしっかりと守り、利用しないと感染は防げません。お店も皆さん同様生活があり、生活が掛かっています。

■「医療機関（医師・看護師）」や感染症患者に従事している関係者は、日夜増え続ける感染症患者の治療に頑張っています。そして、連日急増を続ける感染者の入院・重症者用病床の確保や感染症患者に従事する医師・看護師の確保に追い付かず、状況は逼迫しています。このままでは、医療提供体制崩壊の危機が迫りつつあります。いくら病床を確保しても、感染症患者に従事する医師や看護師、関係者が逼迫したり、疲弊したりしたら、感染は防げません。



■「国民（みなさん）」一人ひとりが「お店（飲食店など）」「医療機関（医師・看護師）」のことも考え「感染しない、感染させない」を合い言葉に、特に感染者が急増している「若い世代や現役世代、退職世代」の皆さんが、今は外出時あるいは、外出先で“一人ひとりが人との接触を減らす行動で、一人ひとりが感染症対策を実行する”ことで、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制し、減らすことができます。

この「国民（皆さん）」「お店（飲食店）」「医療機関（医師・看護師）」のひとつでも感染対策を守らず、バックアップできなかつたら、感染の拡大を防止することはできません。この三つが、今は協力してこそ、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制し、減らすことができます！

会員の皆さん！

自治会「八清親和会」も高齢者が多くなっています。感染対策は国・東京都などの行政・自治体の対策だけではなく、我々もできる独自の感染対策を「会員を感染から守る」を念頭に、一自治会の小さな行動かもしれませんが、市がやらない、自治連がやらない、他の自治会がやらない感染対策活動を、八清親和会の“新しい地域防災活動”と位置付け、予防のための情報提供を、いままでも、これからも感染が収束・終息するまで続けます。

会員を、新型コロナウイルス感染拡大「第3波」から守るため、八清親和会としての感染予防対策のキャッチフレーズ（標語）の第2段を作成しました。

感染予防対策の基本は7月に会報に記載した、第1波教訓から第2波への対応として、令和2年5月4日政府専門家会議公表の感染予防対策の基本と、第3波に於いてもやることの基本は変わりません。第1波、第2波と違う「第3波」の感染状況を含め、一人ひとりができる身近な新型コロナウイルス感染予防対策 ”**MASK（マスク）**“です。これは、一人ひとりが実施できる対策、ローマ字の頭文字一文字づつを取り解かりやすい”**MASK（マスク）**“としました。

- M asuku 「マスク」の着用** :外出、会話をする時は、必ずマスクをつける。
- A ruko-ru 「アルコール」消毒**:こまめにアルコール消毒液で手指消毒をする。
- S anmitu 「3密」回避** :密接・密集・密閉を避け、クラスターの発生リスクを避ける。
- K anki 「換気」を行う** :冬場は特に、窓やドアを開け、こまめに換気を行う。

この八清親和会が掲げる新型コロナウイルス「感染予防対策」の基本「MASK(マスク)」と、政府が示している「感染予防対策へのご協力をお願いします」「感染リスクが高まる『5つの場面』」東京都が示している「お知らせ」と合わせ、一人ひとりがこの感染対策を徹底して実行し、守り感染拡大を防止しましょう！
以上

◆12月28日(月)～30(水)の3日間「歳末警戒防犯防災巡回夜警」を実施しました。

昭島警察署・防犯協会・昭島消防署が主催する「歳末警戒防犯防災巡回夜警」を実施しました。

今年も八清親和会館に「警備本部」を設置し、マスク着用、密接を避けるなどの新型コロナウイルス感染対策を行いながらの実施となりました。

参加者は、新型コロナウイルス感染拡大の中でもありましたが、三役・相談役・本部委員・常任委員・青年部の皆さん3日間延べ男女人員55名ほどが参加してくださいました。女性は会館内での世話役を担っていただき、男性はパトロールを担当し、2班に分かれ八清住宅地域を隈なく巡回しました。巡回中自宅の玄関先や、窓から「ご苦労様」のお声もいただきました。

夜警に参加していただきました皆様ご苦労様でした。



感染情報は、日々変わっています。WEB サイトの「八清親和会紹介」で毎日メディアに報道されない、あるいはスポットでしか報道されない感染情報を「全国・東京都・昭島市別に“会員が知りたい、会員目線で、会員の感染予防のため”の詳細情報を解かりやすく、図・グラフで毎日更新し提供しています。最新の感染情報を見たい方は、自宅のインターネットに接続されたPCあるいは、携帯のスマホから「ヤフージャパン、グーグルなどの検索エンジンから直接⇒『八清親和会』を検索してください。最新の情報は「トピックス」で、日々の詳細感染情報の図・グラフは、左側「地域からの伝言」ページをクリックして見てください。目次に続き感染情報が掲載されています。

八清親和会は、行事・活動の「会員が必要とする情報・会員が知りたい情報」をスピーディに会員に届けるため、平成29年(2017年)から自治連ホームページの「八清親和会紹介ページ」で『トピックス』として、八清親和会広報+お知らせ+報告+その他等を、毎月25～30件ブログ投稿しています。

自宅のインターネットに接続されたPC、携帯のスマホを持っている方 見てください。

□ グーグル・ヤフージャパン等の検索エンジンから直接⇒『八清親和会』を検索。

また、八清天親会(神輿の会)のホームページもあります。

□ グーグル・ヤフージャパン等の検索エンジン⇒『八清天親会』を検索。